

日蓮大聖人御書全集

いちだいごじけいず

一代五時鶏凶

新版
914
〜
917

いちだいごじけいず
一代五時鶏凶

ろくじゅかん はちじゅかん しじゅかんとう
六十卷・八十卷・四十卷等

ごんだいじょう
権大乘

さんしちにち
三七日

けごんぎょう
華嚴經

にゅうみ
乳味

しょうじょうきょう
小乗經

じゅうにねん
十二年

けごんしゅう
華嚴宗

ちょうかん
澄觀

くしやしゅう
俱舍宗

ちごん
智儼

とじゅん
杜順

ほうぞう
法蔵

かおう
花押

阿含經 あこんぎょう

酪味 らくみ

成実宗 じょうじつしゅう

律宗 りっしゅう

無著菩薩 むじやくぼさつ

また唯識宗 ゆいしきしゅう

世親菩薩 せしんぼさつ

深密經 じんみつぎょう

瑜伽論 ゆがろん
弥勒菩薩說 みろくぼさつせつ

法相宗 ほっそうしゅう

護法菩薩 ごほうぼさつ

唯識三十頌 ゆいしきさんじゅうじゆ
世親菩薩造 せしんぼさつぞう

有相宗 うそうしゅう

戒賢論師 かいげんろんじ

十卷・四卷・七卷 じっかん しかん しちかん

玄奘三藏 げんじょうさんぞう

慈恩大師 じおんだいし

楞伽經 りょうがきょう

禪宗 ぜんしゅう

達磨大師 だるまいし

ろくじゆかん
六十卷

だいにちきよう
大日経

しちかん
七卷

だいじつきよう
大集経

こんごうちきよう
金剛頂経

さんかん
三卷

しんごんしゆう
真言宗

こんごうちさんぞう
金剛智三蔵

ぜんむいさんぞう
善無畏三蔵

ほうどうぶ
方等部

そしつじきよう
蘇悉地経

さんかん
三卷

しようそみ
生蘇味

ふくうさんぞう
不空三蔵

けいかわじよう
恵果和尚

こうほうだいし
弘法大師

じゆんぎよう
順暁

でんぎようだいし
伝教大師

じかくだいし
慈覚大師

ちしやうだいし
智証大師

むりようじゆきよう
無量寿経

かんむりようじゆきよう

観無量寿経

どんらんほつし
曇鸞法師

じようどしゆう
浄土宗

どうしやくぜんじ
道綽禅師

さんじゆうねん
三十年

あみだきよう
阿弥陀経

ぜんどうおしょう
善導和尚

はんिया
般若

ひやくろん
百論

だいばぼさつぞう
提婆菩薩造

また云わく
また云わく

りゆうじゆぼさつ
竜樹菩薩

しじつかん
四十卷

ちゆうろん
中論

りゆうじゆぼさつぞう
竜樹菩薩造

しろんしゆう
四論宗

だいばぼさつ
提婆菩薩

だいぼんきよう
大品経

じゆうにもんろん
十二門論

どう
同

さんろんしゆう
三論宗

しょうべんぼさつ
清弁菩薩

じゆくそみ
熟蘇味

だいちどろん
大智度論

どう
同

また法性宗
また法性宗

らじゆうさんぞう
羅什三蔵

いっかん
一卷

無相宗

かじようじ
嘉祥寺の吉蔵大師

むりようぎきよう
無量義経

ほうべんりき

しじゆうよねん

しんじつ

あらわ

「方便力をもつて、四十余年にはいまだ真実を顕さず」

むりようむへんふかしぎあそうぎこうす

ついむじよう

「無量無辺不可思議阿僧祇劫を過ぐるとも、終に無上

ぼだいじよう

えゆえん

ぼだいでいじきどう

菩提を成ずることを得ず。所以はいかん。菩提の大直道を

しゆえけんきようい

るなんおお

ゆえ

知らざるが故に、險逕を行くに、留難多きが故なり」

だいじきどうい

るなんな

ゆえ

「大直道を行くに、留難無きが故なり」

はっかん

八卷

はちかねん

八箇年

ほつけしゆう

法華宗

てんだいだいし

天台大師

ほけきよう

法華経

ぶつりゆうしゆう

仏立宗

でんぎようだいいし

伝教大師

だいいごみ

醍醐味

ほとけ と

「仏の説きたもうところの法ほうにおいて、当まさに大信力だいしんりきを

しょう

生しょうずべし」

せそん

ほうひき

のち

かなら

まさ

しんじつ

と

「世尊せそんは法久ほうひきしくして後のち、要かならず当まさに真実しんじつを説きたもう

べし」

しょうじき

ほうべん

す

むじようどう

と

「正直しょうじきに方便ほうべんを捨てて、ただ無上道むじようどうを説くのみ」

いま

さんがい

みな

わ

う

なか

しゆじよう

「今いまこの三界さんがいは、皆みなこれ我わが有うなり。その中なかの衆生しゆじようは、

わ こ

いま

ところ

もろもろ

ことごとくこれ吾わが子こなり。しかるに今いまこの処ところは、諸もろもろの

げんなんおお

われいちにん

よ

くご

きようしろう

患難多げんなんおおし。ただ我われいちにん一人ひとりのみ、能よく救護くごをなす。また教きようしろう詔しろうす

しんじゆ

といえども、信受しんじゆせず」

おな だいごみ
同じく醍醐味

だいはつねはんぎよう

大般涅槃經

いちにちいちや せつ
一日一夜の説

しじっかん さんじゅうろっかん
四十卷あるいは三十六卷

ほう よ にん よ
「法に依って人に依らざれ」

ぎ よ ご よ
「義に依って語に依らざれ」

ち よ しき よ
「智に依って識に依らざれ」

りようぎぎよう よ ぶりようぎぎよう よ
「了義經に依って不了義經に依らざれ」